

# 東京から北三瓶に移住 地域の文化を発信しています！

にし じま かず ひろ  
西嶋一泰さん

## 地域おこし協力隊として

2016年7月に地域おこし協力隊として、東京から家族で北三瓶地区に移住した西嶋さん。現在は山村留学センターで活動の様子や地域の文化の情報発信を担当しています。

地域おこし協力隊は、総務省が推進する制度で、都会から地方へ人を呼び込んで地域づくりに関わってもらおうというもの。全国で約3000人の隊員が活動中です。隊員には年間最大200万円の人件費、200万円の活動費の予算がつき、任期は最大3年。任期終了後の定住が期待されています。現在、大田市では8人の地域おこし協力隊が活動中です。

## やりたかったことができる

東京では民俗学の研究者だった西嶋さん。祭りの調査で山奥や半島の先など過疎地域を訪れる機会が多くありました。「自分が大好きな地方に伝わる文化を調査するだけでいいのか、過疎地域にもっと直接的に関わる方法はないかと悩んでいました」と話します。そこに山村留学を魅力化する協力隊の募集の話が舞い込み、応募を決めました。移住した感想をお聞きました。「地域に入って、祭りなどを手伝い、あれこれ教わりながら、楽しい日々を送っています。センターや地域の活動を得意なウェブ・映像を駆使して発信する今の仕事にやりがいを感じています」

## 定住にむけた仕事づくり

「三瓶山の原っぱは気持ち良く、環境もいいので子育てをしながら住み続けたいですね。今は副業でライターや映像制作もしています。今の仕事で実績をあげながら、地域に残る方法を模索中です。」

同じく東京出身の妻の遥さんは東京の会社と契約し、家で子育てをしながら、会議の文字起こしの仕事を在宅でしています。

スキルを活かして地域に根付いていこうという西嶋さんご夫婦の挑戦は続きます。

東京から妻と娘、  
家族3人で三瓶に  
移り住んだ西嶋さん

# 子どもたちに、1泊～1年の 自然体験させてみませんか？



国引き神話にも登場する国立公園三瓶山。その麓で子どもたちがのびのびと豊かな自然を体験し、生きる力を育んでいく場所をつくりたい、という想いのもと、1993年に大田市山村留学センターは開園しました。

小学3年生～中学2年生が対象の1年間の長期山村留学では、これまで都会から延べ200人近くの子どもたちを受け入れてきました。

また春・夏・冬の学校の長期休みなどに実施する1泊～11泊の短期山村留学には、延べ2000人以上の子どもたちが山・海・川・里の自然体験プログラムに参加しています。

修園生たちは、今でもセンターや里親農家さんの家を訪ねてきます。子どもたちにとっては大田が第二の故郷となっています。

島根が誇る豊かな山・海・川・里の自然を体験させてみませんか？ 大人も参加できるプログラムもございますので、ぜひ気軽にお問い合わせください。

## 大田市山村留学センター



### 1年間の長期山村留学

小学3年生～中学2年生対象  
年間約70回以上の自然体験を開催！  
センターや里親農家に滞在しながら通学

### 1泊～11泊の短期山村留学

幼児～大人対象  
春・夏・冬の長期休校中や土日に開催  
山菜採り・海釣り・スキー等季節の自然体験

### 運営 大田市教育委員会など

〒694-0002 島根県大田市山口町山口 1694

☎ 0854-86-0700

FAX 0854-86-0701

Email o-sanryu@iwamigin.jp

Web・Facebook で情報発信中！

大田市山村留学 検索